

3月19日合格発表があり、来年度入学してくる生徒が確定しました。3月から臨時休業になりかなりの不安だったと思いますが、春



が訪れたと実感できたと思います。合格発表のボードを見ても書類をもらうまでは進学先はわかりません。封筒の中身を見た瞬間に保護者や中学校の先生方と喜びを分かち合う姿を見ると大事に育てていかねばならないという思いが一層強くなります。同時に本校ではない進学先が書かれていた生徒や不合格になった生徒の皆さんには、それぞれの今後の人生を

をしっかり歩いてほしいと願うばかりです。そして、残念ながら本校に入学できなかった生徒がいるということも私たちはしっかりと肝に銘じて新年度の準備を進めていかねばならないと思っています。合格者の皆さんには23日に集まっていただきますが、心の準備をしっかりして入学式までの間、過ごしてほしいと思います。

また23日神戸新聞朝刊北播版には、久しぶりに本校生の話題が掲載されました。先日加東市から頂いた加東市芸術文化賞賜金についての取材記事です。美術部東野さん、新井さん、放送部西村さんの3名です。いずれもこの3月に卒業した72回生ですが、一人ずつ細かな取材を受け作品とともに紹介していただきました。臨時休業が続いていた中、取り上げていただきありがとうございました。



そして午後からは合格者招集です。例年より少し間隔をあけ、体育館の2階の窓を開けて換気を良くして実施させていただきました。教頭先生からの話の後、教務、生徒指導、事務室と話が続き、その後、物品購入に回っていただきました。体育科からは寮の話を、生活科学科からは準備するものについての話が個別にありました。成績の簡易開示も含め概ね順番に回っていましたが、制服の採寸で込み合いご迷惑をおかけしました。全体的には、提出書類も多く、大変だったと思います。今後ご不明な点をご連絡いただき



き間違いのないよう準備を進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

そして、23日は校内放送での修了式をしました。生徒は私の話を教室で聞きました。いつもと勝手が違ったので事前に原稿を用意し、読み上げました。今回は、野村克也元楽天監督の「勝ちに偶然の勝ちあり、負けに偶然の負けなし」の話を取り上げ、うまいかないことには理由があり、その克服のために自らを理解し、自分磨きをすることの大切さを話させていただきました。また、明日からの部活動について①平日3日、休日1日②2時間程度の活動時間という制約がある中で時間を大切に活動すること、その貴重な時間を充実したものにするために自主的に何をすべきかをしっかり考えようという話もさせていただきました。新型コロナウイルスについては各自がしっかりと感染予防をすることと同時に今だからできることにしっかり取り組み、できることをやる、活動を工夫すること等春季休業中の活動を充実させ、4月8日の始業式を迎えてください。よろしくお願いいたします。

ようやく日差しも温かくなり、東京では桜が満開という情報も出ています。加東市はもう少し先になりそうですが、それでもいつもの年より暖かい傾向で3月中には満開を迎えるような勢いのようなようです。入学式までは持たないかもわかりません。春を存分に感じられる季節になりましたが、新型コロナの影があり、気持ちすっきりと次に向かえない部分もあります。それでも時は止まってくれませんので、自分ができることをしっかりやっていくことで新型コロナ感染が終息に向かうことを期待したいと思います。